

取組点検指標を用いた取組確認結果（尾張地域）

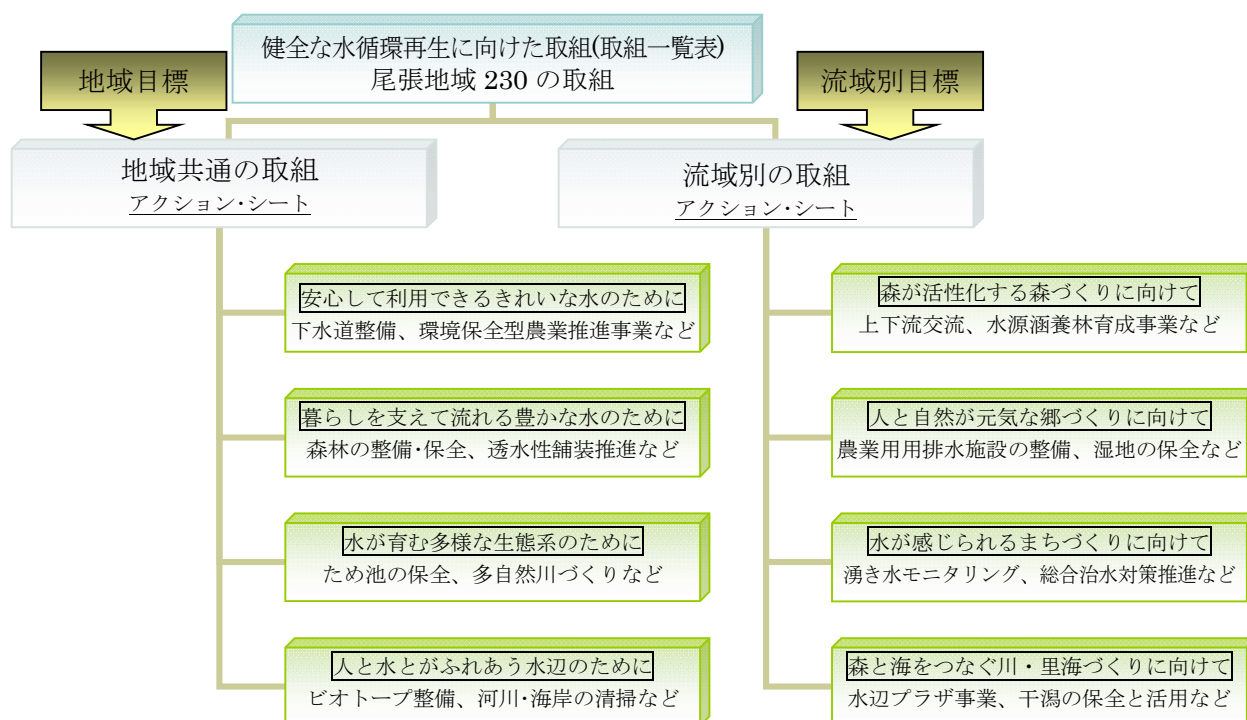
1 背景

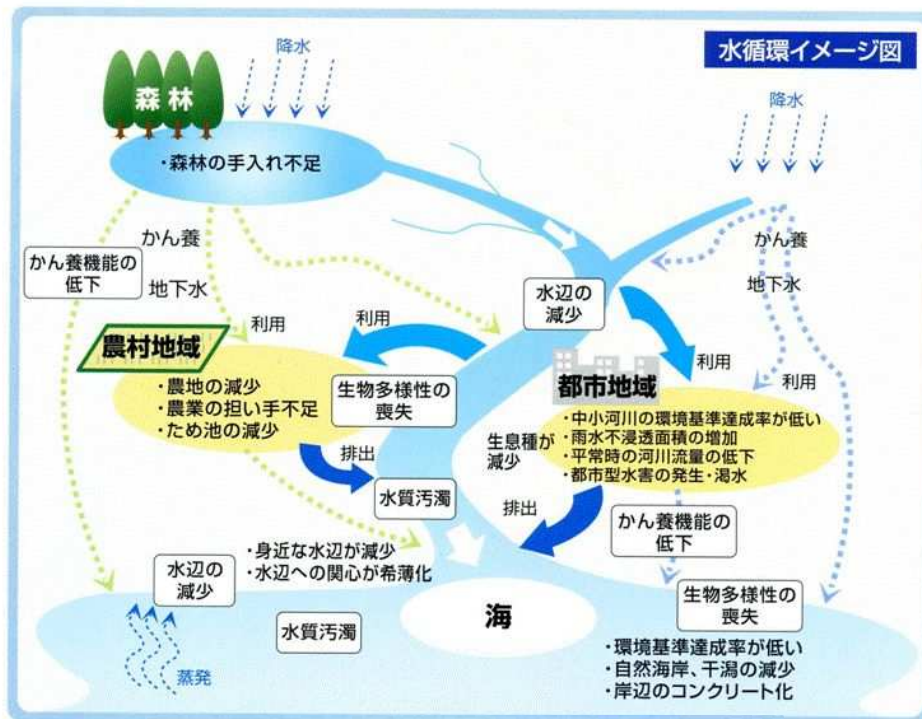
尾張地域水循環再生地域協議会では、行動計画の進捗状況を把握・点検するため、2008 年度に「取組点検指標」を取りまとめ、2009 年度から取組状況の確認を行っています。

「取組点検指標」は、地域で広く実施されている基盤的な取組である「地域共通の取組」と、地域に根ざした取組である「流域別の取組」が設定されています。

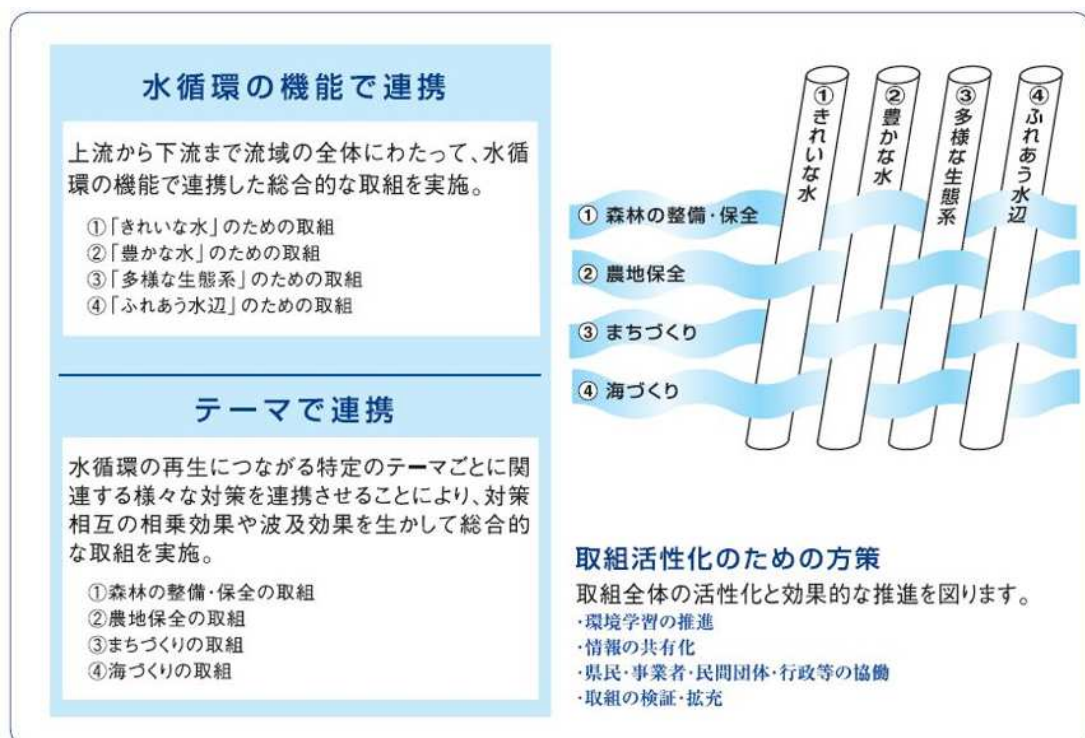
さらに、「地域共通の取組」は、水循環の機能である「きれいな水」、「豊かな水」、「多様な生態系」及び「ふれあう水辺」の 4 項目が、「流域別の取組」は、水循環再生に向けた取組テーマである「森づくり」、「郷づくり」、「まちづくり」及び「川、里海づくり」の 4 項目が設定されています。

【取組点検指標の概念】





水循環のイメージ



健全な水循環を取り戻す取組の方向性

2 尾張地域（流域別を含む）の取組点検指標及び取組実績（2023 年度）

- ・尾張地域水循環再生地域協議会構成員 53 団体により、健全な水循環機能を取り戻すため様々な取組が実施されました（取組集計結果は別表参照）。
- ・地域共通の取組については、「きれいな水」の代表的な取組である、生活排水処理施設の整備（下水道の整備等）が進んだことにより、汚水処理人口普及率が年々上昇しています。また、下水道施設の高度処理の導入も進んでいます。
- ・流域別の取組については、清掃活動や森林の整備、貯留浸透施設の設置などが実施されています。

3 地域共通の取組の進捗確認

水循環再生行動計画（第4次）では、取組の進捗状況が示せるよう、地域共通の取組に目標値が設定されています。

（進捗状況）

- ・生活排水処理施設の整備は、目標年度(2030)に向け整備が着実に進んでいます。
- ・雨水浸透施設等の設置や透水性舗装の整備、ため池の保全などは、継続的に実施されています。
- ・河川及び海域のいずれも環境基準の達成率は、目標（100%）を達成しませんでした。
- ・一時期減少していた流域モニタリング調査及び河川清掃への参加についても、増加傾向が見られます。

4 その他

新たな取組として「森林資源を活用したローカル SDGs 推進事業（名古屋市）」が実施されています。アクションシートは、次頁のとおりです。

水循環再生に関連する新規取組（アクション・シート）

		地 域		木曽川・庄内川等流域			
		構成員名		名古屋市【環境局環境企画課】			
取組名	森林資源を活用したローカルSDGs 推進事業	機能区分	きれいな水	豊かな水	多様な生態系	ふれあう水辺	取組活性化
		テーマ区分	森づくり	郷づくり	まちづくり	川・里海づくり	
取組の概要							
① 取組の目的や背景及び必要性 本市の水源地の一つである長野県木祖村と連携し、森づくりや木材の利用を促進することにより、本市の環境課題の解決や上流域の自治体の地域活性化等に繋げ、都市と地方が補完し、支えあう持続化可能な地域循環共生圏（ローカルSDGs）を推進する。							
② 実施主体（事業主体、当事者など） 名古屋市							
③ 実施内容、実施時期、実施場所など ・森づくり事業 長野県木祖村の一定区画を「木曽川源流の里「名古屋市・木祖村交流の森」として整備し、環境問題について学ぶことができる市民向けバスツアーを実施。 ・木材の利用促進事業 事業者等と連携した間伐材を活用したモデル製品の開発や、市施設での木製品の利用を通じて普及啓発を行うことで、木材の利用促進や環境課題に対する意識向上を図る。							
④ 取組の連携・協働体制 木祖村役場、木祖村観光協会							
⑤ 関連する計画及び根拠となる法律 名古屋市 SDGs 未来都市計画							
⑥ 組点検指標の指標とする項目							

尾張地域 地域共通の取組点検指標及び取組実績

めざす姿	指標とする取組	実 績										目標値	目標年度	指標の説明
	取組内容	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度			
きれいな水	生活排水処理施設の整備 汚水処理全体	汚水処理人口普及率(%)												
	・下水道、集落排水、合併処理浄化槽など地域の実情に応じた汚水処理施設の整備により、生活環境の改善、公共用水域の水質保全を図る。	88.9%	89.2%	90.1%	90.5%	91.3%	91.6%	92.0%	92.4%	92.9%	93.2%	100%	2030	汚水処理人口/行政人口×100
	下水道の整備	下水道普及率(%)												
	・生活環境の改善、公共用水域の水質保全のため下水道整備を推進する。	76.9%	77.6%	78.4%	79.2%	80.1%	80.5%	81.1%	81.6%	82.0%	82.4%	97.7%	2030	下水道処理人口/行政人口×100
	高度処理施設の導入(下水道整備の内)	高度処理人口普及率(%)												
	・伊勢湾と三河湾の富栄養化を防止するため、下水道施設の高度処理化を行う。	24.4%	25.0%	25.6%	30.4%	31.0%	30.2%	32.2%	32.6%	32.9%	34.3%	100%	2025	高度処理人口/行政人口×100
	農業集落排水施設の保全、管理	農業集落排水処理人口普及率(%)												
	・農業集落におけるし尿、生活雑排水等の汚水进行处理する施設を保全、維持し、農業用排水の水質保全、農業用排水施設の機能維持、及び農村生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全を図る。	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%	1.0%	1.0%	0.9%	0.9%	0.9%	1.0%	2030	農業集落排水処理人口/行政人口×100
	合併処理浄化槽の設置	合併処理浄化槽処理人口普及率(%)												
	・既設の単独処理浄化槽について、地域の実情に応じ、合併処理浄化槽への転換の促進を図る。併せて窒素、リンが削減できる高度処理型の浄化槽の普及を推進する。	10.8%	10.3%	10.4%	10.2%	10.0%	9.9%	9.8%	9.8%	9.8%	9.7%	—	—	・合併処理浄化槽設置済人口/行政人口×100 ・合併処理浄化槽基数/全浄化槽基数×100
		33.2%	34.3%	36.3%	37.6%	38.6%	39.5%	40.2%	41.3%	42.1%	43.6%	100%	2030	
	コミュニティプラントの整備	コミュニティプラント処理人口普及率(%)												
	・コミュニティプラントの整備及び適正な維持管理を推進する。	0.1%	0.1%	0.13%	0.13%	0.13%	0.13%	0.13%	0.13%	0.13%	0.12%	0.13%	2030	コミュニティプラント処理人口/行政人口×100
	河川等公共用水域水質監視	河川(BOD)の環境基準達成率(%)												
	・公共用水域及び地下水の水質常時監視を実施する。	100%	100%	93.3%	100%	100%	86.7%	100.0%	100%	100%	93%	100%	毎年	・河川BODは尾張地域のみの環境基準達成率 ・海域CODは伊勢湾(狭義)のみの環境基準達成率
		25%	75%	50%	25%	50%	25%	50%	25%	25%	25%	100%	毎年	
	水生生物調査	実施箇所数												
	・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。	34箇所	29箇所	38箇所	47箇所	33箇所	38箇所	—	—	28箇所	21箇所	前年増	単年	水生生物調査の実施箇所数、延べ参加人数
		2,122人	1,290人	2,122人	2,223人	1,768人	4,277人	—	—	1,016人	470人	前年増	単年	
	流域モニタリング一斉調査	実施箇所数												
	・住民と行政が連携・協働し、森から海まで流域全体を視野に入れた水環境に関するモニタリングを実施する。	54箇所	88箇所	89箇所	91箇所	95箇所	93箇所	92箇所	93箇所	84箇所	106箇所	前年増	単年	流域モニタリング一斉調査の実施箇所数、延べ参加人数
		421人	660人	592人	648人	592人	371人	289人	274人	399人	493人	前年増	単年	
	伊勢湾再生推進会議(関係機関との連携強化)	施策実施状況(件)												
	・伊勢湾とその流域の再生のための行動計画の策定と推進、各事業主体の施策の実施、河川・湖沼・海岸等での水質調査、簡易水質テスト、ごみ調査、生物調査、清掃活動の実施	215件	217件	218件	219件	219件	219件	219件	219件	221件	221件	継続実施	継続実施	各機関の施策実施状況
	河川・海岸の清掃	実施回数(回)												
	・きれいな川と海を次世代へ残すために地域住民・自治体・国が一体となって清掃活動を行う。また、河川、水路及びため池の環境を守り向上させるために、啓発活動と美化活動を行う。	842回	851回	869回	781回	590回	616回	646回	660回	661回	551回	前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数
		224箇所	196箇所	181箇所	179箇所	88箇所	80箇所	68箇所	93箇所	114箇所	129箇所	前年増	単年	
		68,852人	56,122人	52,811人	44,281人	20,757人	22,615人	8,140人	8,722人	16,278人	23,324人	前年増	単年	

めざす姿	指標とする取組	実 績										目標値	目標年度	指標の説明
	取組内容	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度			
豊かな水	森林整備の促進	間伐面積(ha)										4,000ha(県域)	－	間伐を実施した面積
	・森林が有する水源の涵養などの多面的機能を十分に発揮させるため、森林の適切な保全管理を行う。	141ha	105ha	109ha	19ha	21ha	30ha	25ha	40ha	19ha	20ha			
	雨水浸透施設等の設置(浄化槽の転用を含む)	雨水貯留施設の設置数										継続実施	単年	・構成員が施工した公共施設等における雨水貯留施設の設置数 ・地域住民が行う雨水貯留浸透施設(浄化槽転用貯留槽、雨水貯留浸透施設、雨水浸透ます、雨水浸透管・側溝、透水性舗装など)の設置に補助した件数
	・降雨時における雨水流出抑制を図ることにより河川などの洪水を軽減するとともに、公共下水道接続時に不となる浄化槽を雨水貯留施設へ転用することで、雨水の有効利用及び地下水の涵養を図る。	324箇所	214箇所	204箇所	65箇所	98箇所	94箇所	90箇所	95箇所	89箇所	92箇所			
		雨水貯留浸透施設設置補助件数										継続実施	単年	
		526件	319件	286件	149件	105件	132件	117件	121件	229件	167件			
多様な生態系	透水性舗装の推進	整備面積(m ²)										継続実施	単年	構成員が施工した透水性舗装の面積
	・雨水を地中に浸透させ、都市の水循環をより自然なものに近づけ、雨水流出抑制と地表面の温度低下によるCO2削減など環境に配慮したまちづくりを行う。	68,962m ²	70,606m ²	68,705m ²	59,342m ²	36,451m ²	28,399m ²	52,463m ²	62,013m ²	36,012m ²	30,663m ²			
	ため池の保全	整備箇所数										継続実施	単年	構成員が整備したため池の箇所数
	・近年の都市化の進展などによりため池を取り巻く環境の悪化や、ため池の減少など様々な課題に対応するため、県が策定した「愛知県ため池保全構想(H19.3)」に基づき、ため池が持つ多面的機能を維持・増進する。	45箇所(6箇所継続)	25箇所(16箇所継続)	36箇所(21箇所継続)	28箇所	26箇所	25箇所	26箇所	30箇所	37箇所	32箇所			
	多自然川づくり	整備延長(km)										継続実施	単年	県内全域での実績
	・河川全体の営みを視野に入れ地域の歴史文化との調和に配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出する。	7.6km	3.3km	1.0km	0.9km	0.9km	1.3km	2.2km	4.0km	4.0km	2.0km			
ふれあう水辺	ため池の保全(再掲「豊かな水」)	整備箇所数										継続実施	単年	構成員が整備したため池の箇所数
	・近年の都市化の進展などによりため池を取り巻く環境の悪化や、ため池の減少など様々な課題に対応するため、県が策定した「愛知県ため池保全構想(H19.3)」に基づき、ため池が持つ多面的機能を維持・増進する。	45箇所(6箇所継続)	25箇所(16箇所継続)	36箇所(21箇所継続)	28箇所	26箇所	25箇所	26箇所	30箇所	37箇所	32箇所			
	ビオトープ整備	整備箇所数										継続実施	単年	構成員が整備したビオトープの箇所数
	・動植物の多様な生息場所を確保することにより、地域環境の向上と人間と自然との共生を図る。	4箇所	5箇所	1箇所	0箇所	0箇所	0箇所	1箇所	1箇所	1箇所	0箇所			
	水生生物調査(再掲「きれいな水」)	実施箇所数										前年増	単年	水生生物調査の実施箇所数、延べ参加人数
	・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。	34箇所	29箇所	38箇所	47箇所	33箇所	38箇所	－	－	28箇所	21箇所			
		延べ参加人数(人)										前年増	単年	
		2,122人	1,290人	2,122人	2,223人	1,768人	4,277人	－	－	1,016人	470人			
	河川・海岸の清掃(再掲「きれいな水」)	実施回数(回)										前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数
	・きれいな川と海を次世代へ残すために地域住民・自治体・国が一体となって清掃活動を行う。また、河川、水路及びため池の環境を守り向上させるために、啓発活動と美化活動を行う。	842回	851回	869回	781回	590回	616回	646回	660回	661回	551回			
		実施箇所数										前年増	単年	
豊かな水		224箇所	196箇所	181箇所	179箇所	88箇所	80箇所	68箇所	93箇所	114箇所	129箇所			
		延べ参加人数(人)										前年増	単年	
		68,852人	56,122人	52,811人	44,281人	20,757人	22,615人	8,140人	8,722人	8,722人	23,324人			
	多自然川づくり(再掲「多様な生態系」)	整備延長(km)										継続実施	単年	県内全域での実績
	・河川全体の営みを視野に入れ地域の歴史文化との調和に配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出する。	7.6km	3.3km	1.0km	0.9km	0.9km	1.3km	2.2km	4.0km	4.0km	2.0km			
	河川・海岸の清掃(再掲「きれいな水」)	実施回数(回)										前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数
豊かな水		842回	851回	869回	781回	590回	616回	646回	660回	661回	551回			
		実施箇所数										前年増	単年	
	・きれいな川と海を次世代へ残すために地域住民・自治体・国が一体となって清掃活動を行う。また、河川、水路及びため池の環境を守り向上させるために、啓発活動と美化活動を行う。	224箇所	196箇所	181箇所	179箇所	88箇所	80箇所	68箇所	93箇所	114箇所	129箇所			
		延べ参加人数(人)										前年増	単年	
豊かな水		68,852人	56,122人	52,811人	44,281人	20,757人	22,615人	8,140人	8,722人	16,278人	23,324人			

尾張地域 流域別の取組点検指標及び取組実績

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名(構成員名)	実 績											
		取組内容		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
日光川等流域	森づくり	なごや西の森づくり	名古屋市長	市民の参加者数		市民の参加者数								市民の参加者数	
		・「なごや西の森づくり計画書」に基づき、市民(戸田川みどりの夢くらぶ)、企業、行政の協働で「なごや西の森づくり」を推進する。 ・森の成長にあわせた森の手入れ、森や水辺の観察、調査、クラフトづくり等森での体験イベントを実施する。		4,000人	3,500人	3,400人		1,500人	3,156人	2,157人	1,864人	1,602人	1,546人	1,432人	
		植えた本数		348本		100本									
	【課題】	〇全般的に単調な護岸であることから、自然に配慮した多自然川づくりが必要である。	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	まちづくり	合流式下水道の改善	名古屋市長 事業完了:一宮市、津島市	実施内容										実施内容	
		・合流式下水道の改善のため、吐き口対策スクリーン、遮集管、雨水貯留施設等の設置を行う。		—		—		—		—		—		—	
		〇河口域の大規模なヨシ原は生物の生育・生息環境を形作っていることから、これらの保全が必要である。													
	【目標】	浄化槽の適切な維持管理	あま市長	実施内容										実施内容	
		・浄化槽の適切な維持管理について、啓発を行う。		—	【笠江町】町の広報誌に浄化槽の適正な維持管理についての啓発文を掲載した。	【あま市、笠江町】広報誌に浄化槽の適正な維持管理についての啓発文を掲載した。	—	—	【あま市】広報誌にて浄化槽の適正管理について啓発 【笠江町】ホームページでの啓発	【あま市】広報誌にて浄化槽の適正管理について啓発 【笠江町】ホームページにて浄化槽の適正管理について啓発	【あま市】広報誌にて浄化槽の適正管理について啓発	【あま市】広報誌にて浄化槽の適正管理について啓発			
		合併処理浄化槽の設置整備		申込件数										申込件数	
	〇自然や親水性に配慮した川や水路の整備と清掃など水辺環境の改善による、人に親しみやすい水辺や景観を維持 〇干流域に群生しているヨシ原など、この流域に貴重な水辺の自然の保全	・浄化槽を設置することにより生活環境の悪化を防止し、水質浄化を図る。 ・町内を「対象地域」と「特例地」に分けて合併処理浄化槽の設置の推進を行う。	笠江町	76件	52件	31件	—	—	41件	24件	26件	—	73件		
		水質環境目標値市民モニタリング	名古屋市長	モニター登録人数										モニター登録人数	
		・市内の河川、ため池において、透視度、水の色、水のおい、ゴミ及び水量(河川のみ)について、市民モニターが年4回調査を実施。 ・調査結果を名古屋市長に提出してもらい、それをとりまとめて、名古屋市長が公表。		175人	175人	175人	137人	137人	134人	夏季・秋季:35グループ142名、冬季:34グループ140名参加 ※新型コロナウィルスの影響により春季調査は中止	139人	140人	152人		
		川・里海づくり		水生生物調査	流城市町、県水大気環境課 (※報告機関:県水大気環境課)	1箇所	0箇所	2箇所	5箇所	5箇所	2箇所	—	—	0箇所	1箇所
日光川等流域	川・里海づくり	・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。	稲沢市長	35人	0人	48人	16人	10人	39人	—	—	0人	2人		
		三宅川の清掃活動		実施回数(回)										実施回数(回)	
		・河川の清掃を行う。		1回	1回	—	—	—	—	—	—	0回	0回		
	大江川・笠江川の清掃活動	・河川の清掃を行う。	あま市長	1箇所	1箇所	—	—	—	—	—	—	0箇所	0箇所		
		実施箇所数										実施箇所数			
		137人		36人	—	—	—	—	—	—	—	0人	0人		
	笠江川の清掃活動等	・河川の清掃を行う。	笠江町	実施回数(回)										実施回数(回)	
		1回		1回	3回	1回	—	3回	—	—	1回	4回			
		実施箇所数										実施箇所数			
	大江川クリーン作戦【2022終了】	・河川の清掃を行う。	一宮市長	2箇所	1箇所	4箇所	2箇所	—	4箇所	—	—	1箇所	5箇所		
		実施箇所数										実施箇所数			
		500人		620人	655人	600人	—	400人	—	—	50人	800人			
	水辺スポーツの整備	・高水敷、散策路、護岸、休憩施設、防護策等の整備	笠江町	実施回数(回)										実施回数(回)	
		2回		2回	2回	—	—	2回	—	—	2回	2回			
		実施箇所数										実施箇所数			
	水質環境目標値市民モニタリング(再掲)	・市内の河川、ため池において、透視度、水の色、水のおい、ゴミ及び水量(河川のみ)について、市民モニターが年4回調査を実施。 ・調査結果を名古屋市長に提出してもらい、それをとりまとめて、名古屋市長が公表。	名古屋市長	2箇所	2箇所	2箇所	—	—	2箇所	—	—	2箇所	2箇所		
		モニター登録人数										モニター登録人数			
		458人		453人	455人	—	—	200人	—	—	117人	300人			
日光川等流域	川・里海づくり	大江川クリーン作戦【2022終了】	一宮市長	実施回数(回)										実施回数(回)	
		1回		雨天中止	1回	1回	1回	1回	中止	中止	—	—			
		実施箇所数										実施箇所数			
	水辺スポーツの整備	・河川の清掃を行う。	笠江町	1箇所(2.0km)	雨天中止	1箇所(2.0km)	1箇所(2.0km)	1箇所(2.0km)	1箇所(2.0km)	—	—	—	—		
		モニター登録人数(人)										モニター登録人数(人)			
		約800人		雨天中止	約800人	約800人	約600人	約600人	—	—	—	—			
	水質環境目標値市民モニタリング(再掲)	・高水敷、散策路、護岸、休憩施設、防護策等の整備	名古屋市長	実施箇所数										実施箇所数	
		1ha		1ha	0.2ha	—	—	0.1863ha	—	0.1863ha	—	0.1863ha			
		モニター登録人数										モニター登録人数			
	水質環境目標値市民モニタリング(再掲)	・市内の河川、ため池において、透視度、水の色、水のおい、ゴミ及び水量(河川のみ)について、市民モニターが年4回調査を実施。 ・調査結果を名古屋市長に提出してもらい、それをとりまとめて、名古屋市長が公表。	名古屋市長	1箇所	1箇所	—	—	—	—	—	—	—	0箇所		
		モニター登録人数										モニター登録人数			
		175人		175人	175人	137人	137人	134人	夏季・秋季:35グループ142名、冬季:34グループ140名参加 ※新型コロナウィルスの影響により春季調査は中止	139人	140人	152人			

流域名	テーマ区分	指標とする取組		実施機関名(構成員名)	実 績															
		取組内容			2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度						
木曽川・庄内川等 流域	川・里海づくり	大山川クリーンアップ行事【2019終了】		(大山川を愛する市民の会) 2019年度まで	延べ参加人数(人)		実施回数(回)				—	—	—	—						
		1,760人			1,696人	1回	1回	—	—											
		ごみの量(kg)			実施箇所数		実施箇所数		実施箇所数						—					
		2,300kg	212kg		13箇所	15.0km	—	—												
		延べ参加人数(人)				—	—													
					1,652人	1,568人	—	—												
		五糸川等の清掃活動		大山市	実施回数(回)				実施箇所数				実施回数(回)							
		・河川の清掃を行う。			3回	3回	3回	—	1回	1回	1回	14回	44回	16回						
					実施箇所数				実施箇所数				実施箇所数							
					3箇所	3箇所	3箇所	—	1箇所	1箇所	1箇所	3箇所	3箇所	2箇所						
					延べ参加人数(人)				延べ参加人数(人)				延べ参加人数(人)							
					1,640人	2,950人	2,950人	—	663人	500人	—	53人	323人	260人						
		クリーンアップ五糸川		岩倉市	実施回数(回)				実施箇所数				実施箇所数							
		・河川の清掃を行う。			1回	1回	1回	—	—	—	—	—	1回	2回						
					実施箇所数				実施箇所数				実施箇所数							
					1箇所	1箇所	1箇所	—	—	—	—	—	6箇所	6箇所						
					延べ参加人数(人)				延べ参加人数(人)				延べ参加人数(人)							
					約800人	800人	800人	—	—	—	—	—	250人	400人						
		新川等の清掃活動		清須市	実施回数(回)				実施箇所数				実施箇所数							
		・河川の清掃を行う。			2回	2回	2回	—	2回	2回	—	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	1回	1回						
					実施箇所数				実施箇所数				実施箇所数							
					3箇所	3箇所	3箇所	—	市内流域	市内流域	—	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	市内流域	市内河川流域						
					延べ参加人数(人)				延べ参加人数(人)				延べ参加人数(人)							
					約6,500人	約5,800人	4,573人	—	2,512人	2,221人	—	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	907人	833人						
川と海のクリーン大作戦		一宮市、春日井市、江南市、大山市、愛西市、扶桑町、庄内川河川事務所 (報告機関:市町村)	実施回数(回)				実施箇所数				実施箇所数									
・住民と行政が一体となり清掃活動を実施する。			5回	5回	12回	—	—	6回	4回	1回	10回	12回								
			実施箇所数				実施箇所数				実施箇所数									
			17箇所	17箇所	24箇所	—	—	6箇所	4箇所	6箇所	28箇所	29箇所								
			延べ参加人数(人)				延べ参加人数(人)				延べ参加人数(人)									
			2,323人	2,376人	7,948人	—	—	2,969人	1,160人	560人	3,023人	4,866人								
藤前干潟クリーン大作戦		庄内川河川事務所	実施回数(回)				実施箇所数				実施箇所数									
・庄内川下流から藤前干潟までの清掃を行う。					2回	1回	—	—	1回	1回	2回	2回								
			実施箇所数				実施箇所数				実施箇所数									
			2箇所	2箇所	1箇所	12箇所	—	—	1箇所	9箇所	11箇所	11箇所								
			延べ参加人数(人)				延べ参加人数(人)				延べ参加人数(人)									
			2,363人	1,649人	2,581人	1,724人	—	—	977人	1,111人	2,683人	3,540人								
庄内川・新川クリーン大作戦【2018終了】		庄内川河川事務所	実施回数(回)		2回		実施箇所数		2回		—									
・庄内川・新川沿川(港区)の清掃活動を行う。			実施箇所数		9箇所		2箇所		1箇所		—									
			延べ参加人数(人)		1,320人		775人		1,502人		—									
			実施箇所数				実施箇所数				実施箇所数									
			30箇所	30箇所	32箇所	71箇所	69箇所	30箇所	—	—	26箇所	19箇所								
			延べ参加人数(人)				延べ参加人数(人)				延べ参加人数(人)									
水生生物調査		流城市町、庄内川河川事務所、県水大気環境課 (※報告機関:庄内川河川事務所、県水大気環境課)	実施箇所数				実施箇所数				実施箇所数									
・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。			30箇所	30箇所	32箇所	71箇所	69箇所	30箇所	—	—	26箇所	19箇所								
			延べ参加人数(人)				延べ参加人数(人)				延べ参加人数(人)									
			1,789人	2,014人	1,781人	1,455人	1,160人	1,020人	—	—	969人	428人								
			実施回数(回)				実施箇所数				実施箇所数									
			—	—	4回	—	—	—	—	—	—	—								
モリコロの川(矢田川)を守るプロジェクト【2019終了】		流城市町 (モリコロの川を守る会)	実施箇所数(回)				実施箇所数(回)				実施箇所数(回)									
・地元の河川である矢田川に目を向け、流域全体をネットワークで結び、情報・ノウハウを共有し、その知見等を流域全体の住民に広く広報し、まずは河川に対する関心を高めることが大切であると考え、プロジェクトを結成し、活動を開始。 ・河川堤防の清掃、草刈、堤防緑化(緑の回廊)の維持管理、河川に生息する希少生物の保護、地域交流・親水行事・水環境に関するフォーラム等の実施。			実施箇所数:4箇所 延べ参加人数:189人		4回	—	—	—	—	—	—									
			参加者数(人)				参加者数(人)				参加者数(人)									
					147人	—	—	—	—	—	—	—								
			実施箇所数				実施箇所数				実施箇所数									
			食糧川の清流を取りもどす会」の活動		小牧市、大山市、北名古屋市、扶桑町、大口町 (※報告機関:小牧市)	実施回数(回)				実施箇所数				実施箇所数						
・魚が住みかたが飛ぶ豊かな自然を取り戻し、住民の健康で快適な生活ができる環境をつくることを目的として結成された「食糧川の清流を取りもどす会」において、食糧川流域の水質の保全と環境の美化に取り組む。 ・生物調査、採水調査、「水辺に親しむ活動」、「河川美化活動」を実施する。		生物調査:3回 採水調査:2回 水辺に親しむ活動:3回 河川美化活動:5回		生物調査:3回 採水調査:2回 水辺に親しむ活動:4回 河川美化活動:8回		4回	5回	5回	5回	5回	8回	0回								
		実施箇所数				実施箇所数				実施箇所数										
		生物調査:11箇所 採水調査:13箇所 水辺に親しむ活動:3箇所 河川美化活動:5箇所	生物調査:11箇所 採水調査:13箇所 水辺に親しむ活動:4箇所 河川美化活動:8箇所	3箇所		3箇所	8箇所	3箇所	3箇所	3箇所	6箇所	0箇所								
		実施箇所数				実施箇所数				実施箇所数										
		水環境自警値市民モニタリング(再掲)		名古屋市		モニター登録人数				モニター登録人数				モニター登録人数						
・市内の河川、ため池において、透視度、水の色、水におい、ゴミ及び水量(河川のみ)について、市民モニターが年4回調査を実施。 ・調査結果を名古屋市に提出してもらい、それとをとりまとめて、名古屋市が公表。		175人	175人		175人	137人	137人	134人	夏季・秋季:35グループ142名、 冬季:34グループ140名参加 ※新型コロナウイルスの影響により春季調査は中止	139人	140人	152人								
		参加者数(人)				参加者数(人)				参加者数(人)										
		544人	383人		515人	583人	978人	933人	200人	349人	3,843人	1,003人								
		実施回数				実施箇所数				実施箇所数										
		9回	20回		22回	—	—	—	—	—	—	—								
魚道環境の調査		(矢田・庄内川をきれいにする会) 2017年度まで	実施箇所数				実施箇所数				実施箇所数									
・魚道環境調査を行う。			実施箇所数		2箇所		14箇所		10箇所		—									
			実施箇所数				実施箇所数				実施箇所数									
			2箇所		14箇所		10箇所		—		—									
			実施箇所数				実施箇所数				実施箇所数									
			船だまり・魚場・稚魚の放流場の整備・清掃		木曽川漁業協同組合	実施箇所数				実施箇所数				実施箇所数						
・木曽川漁業協同組合の各支部長が主となり、船だまり・魚場・稚魚の放流場の整備・清掃を行う。		14箇所		14箇所		17箇所		17箇所		—		9箇所		8箇所		9箇所		9箇所		

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名(構成員名)	実 績										
		取組内容		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
天白川・山崎川等流域	森づくり	水質環境改善事業	愛知用水土地改良区	整備面積 (ha)									整備面積 (ha)	
		・植樹祭でヒノキの苗の植樹・育樹を行う。		0.4ha	0.4ha	0.4ha	－	0.02ha	0.02ha	－	0.02ha	0.02ha	0.02ha	
		分収造林の整備		育樹参加人数(人)									育樹参加人数(人)	
	【課題】 ○生態系を含めた周辺環境と調和した環境が求められている。	・「森林を守ることによって水を守る」ことを目的として、生活用水、工業用水及び農業用水の殆どを本管川に依存している日進市の費用負担により、味増川ダム左岸の固有林内で分収造林「平成日進の森林」の造林事業を実施。	日進市	68人	98人	34人	－	－	－	－	－	－	－	
		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－		
	【目標】 ☆都市を潤し自然と人を育む川 ☆周辺環境と調和した、四季感あふれる散歩道 ○魚が行き交う自然が豊かな川 ○ハード「ウォッシング」や水遊びが楽しめる水辺 ○瀬や淵など変化がある流れ	まちづくり	合流式下水道の改善	名古屋市	実施内容									実施内容
		・合流式下水道の改善のため、吐き口対策スクリーン、通集管、雨水貯留施設等の設置を行う。	・きょう雑物除去装置 13ヶ所(完了) ・ポンプ所スクリーンの目幅縮小 3ヶ所(完了) ・雨水貯留施設 1ヶ所(整備中)		・雨水貯留施設 1ヶ所(整備中)	・ごみ除去装置の設置 4箇所	－	雨水スクリーンの目幅縮小1箇所(整備中)	雨水スクリーンの目幅縮小1箇所(完了) 1箇所(整備中)	－				
		なごや東山の森づくり	参加者数(人)									参加者数(人)		
		・「なごや東山の森づくり基本構想」に基づき、市民(なごや東山の森づくりの会)、企業、行政の協働で「なごや東山の森づくり」を推進する。 ・雑木林や湿地、竹林の手入れ、森の観察や調査、クラフトづくり等森での体験イベントを実施する。	名古屋市		3,600人	4,797人	4,995人	4,943人	4,158人	3,764人	3,108人	3,574人	3,910人	4,847人
		－	－		－	－	－	－	－	－	－	－	－	
天白川・山崎川等流域	まちづくり	水質環境目標値市民モニタリング(再掲)	名古屋市	モニター登録人数									モニター登録人数	
		・市内の河川、ため池において、透明度、水の色、水のおい、ゴミ及び水量(河川のみ)について、市民モニターが年4回調査を実施。 ・調査結果を名古屋市に提出してもらい、それをとりまとめて、名古屋市が公表。		175人	175人	175人	137人	137人	134人	夏季・秋季:35グループ142名、冬季:34グループ140名参加 ※新型コロナウイルスの影響により春季調査は中止	139人	140人	152人	
	川・里海づくり	湧き水モニタリング(再掲)	名古屋市	モニター登録人数									モニター登録人数	
		・水循環の一つの指標と考えられる湧き水の状況を、市民と協働で把握し、水循環に対する市民の関心を高め、行動へのきっかけとする。		34人	34人	34人	35人	33人	33人	10グループ41名参加 ※新型コロナウイルスの影響により春季調査は中止	47人	47人	47人	
	川・里海づくり	水生生物調査	流城市市、県水大気環境課 (※報告機関:県水大気環境課)	実施箇所数									実施箇所数	
		・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。		3箇所	3箇所	4箇所	18箇所	19箇所	3箇所	－	－	2箇所	1箇所	
		－		延べ参加人数(人)									延べ参加人数(人)	
		298人		238人	293人	62人	69人	344人	－	－	47人	40人		
		水質環境目標値市民モニタリング(再掲)		モニター登録人数									モニター登録人数	
		・市内の河川、ため池において、透明度、水の色、水のおい、ゴミ及び水量(河川のみ)について、市民モニターが年4回調査を実施。 ・調査結果を名古屋市に提出してもらい、それをとりまとめて、名古屋市が公表。		名古屋市	175人	175人	175人	137人	137人	134人	夏季・秋季:35グループ142名、冬季:34グループ140名参加 ※新型コロナウイルスの影響により春季調査は中止	139人	140人	152人
川・里海づくり	天白・川辺の美観	名古屋市	実施内容									実施内容		
	・天白川とその流域を中心として、川に親しみ、川に学び、川の課題を知り、自然環境のすばらしさの維持・保全につとめ、川にかかわる生活のたのしさやゆたかさを次世代に伝承する。		天白川における自然観察会の実施等	天白川における自然観察会の実施等	天白川における自然観察会の実施等	天白川における自然観察会の実施等	天白川における自然観察会の実施等	天白川における自然観察会の実施等	天白川における自然観察会の実施等	天白川における自然観察会の実施等	天白川で自然観察会等(川遊び、川のごみ拾い)を実施 市民50名参加(この他、市民団体・職員等18名参加)	天白川で自然観察会等(川遊び、川のごみ拾い)を実施 市民47名参加(この他、市民団体・職員等21名参加)	－	
伊勢湾沿岸域(知多半島等)	森づくり	水質環境改善事業	愛知用水土地改良区	整備面積 (ha)									整備面積 (ha)	
		・植樹祭でヒノキの苗の植樹・育樹を行う。		0.4ha	0.4ha	0.4ha	－	0.02ha	0.02ha	－	0.02ha	0.02ha	0.02ha	
		－		－	－	－	－	－	－	－	－	－		
	【課題】 ○単純な河川環境が見られることから、自然に恵まれ、うるおいを感じることが出来る川づくりが必要となっている。 ○流域には多くのため池が見られるが、ため池は多面的機能を持つことから、その保全を図ることが必要である。 ○生活排水対策とともに、	まちづくり	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－		
	【目標】 ☆水辺を散歩したい川 ☆生き物をばくちくため池を守る ○水辺の緑が豊かで、魚や草などが見られる川 ○利水・治水を始めた多面的機能を有するため池の保全	川・里海づくり	海岸環境整備事業(掘削海岸)	県知多建設事務所	掘削距離岸延長 (m)									掘削距離岸延長 (m)
		・砂浜の保全・再生を図るため、突堤の整備や養浜を行う。	67.8m		18.9m	－	22.2m	56.0m	20.0m	0m	35.0m	0m	1,150m	
		－	継続延長 (m)									継続延長 (m)		
		－	－		73.1m	－	－	－	－	－	0m	0m		
		水生生物調査	実施箇所数									実施箇所数		
・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。	流城市市、県水大気環境課 (※報告機関:県水大気環境課)	1箇所	4箇所	－	－	0箇所	0箇所	延べ参加人数(人)		延べ参加人数(人)				
－	－	－	2人	14人	－	－	0人	0人						

尾張地域 地域共通の取組点検指標及び取組実績

めざす姿	指標とする取組	実 績										目標値	目標年度	指標の説明
	取組内容	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度			
きれいな水	生活排水処理施設の整備 汚水処理全体	汚水処理人口普及率(%)												
	・下水道、集落排水、合併処理浄化槽など地域の実情に応じた汚水処理施設の整備により、生活環境の改善、公共用水域の水質保全を図る。	88.9%	89.2%	90.1%	90.5%	91.3%	91.6%	92.0%	92.4%	92.9%	93.2%	100%	2030	汚水処理人口/行政人口×100
	下水道の整備	下水道普及率(%)												
	・生活環境の改善、公共用水域の水質保全のため下水道整備を推進する。	76.9%	77.6%	78.4%	79.2%	80.1%	80.5%	81.1%	81.6%	82.0%	82.4%	97.7%	2030	下水道処理人口/行政人口×100
	高度処理施設の導入(下水道整備の内)	高度処理人口普及率(%)												
	・伊勢湾と三河湾の富栄養化を防止するため、下水道施設の高度処理化を行う。	24.4%	25.0%	25.6%	30.4%	31.0%	30.2%	32.2%	32.6%	32.9%	34.3%	100%	2025	高度処理人口/行政人口×100
	農業集落排水施設の保全、管理	農業集落排水処理人口普及率(%)												
	・農業集落におけるし尿、生活雑排水等の汚水処理する施設を保全、維持し、農業用排水の水質保全、農業用排水施設の機能維持、及び農村生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全を図る。	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%	1.0%	1.0%	0.9%	0.9%	0.9%	1.0%	2030	農業集落排水処理人口/行政人口×100
	合併処理浄化槽の設置	合併処理浄化槽処理人口普及率(%)												
	・既設の単独処理浄化槽について、地域の実情に応じ、合併処理浄化槽への転換の促進を図る。併せて窒素、リンが削減できる高度処理型の浄化槽の普及を推進する。	10.8%	10.3%	10.4%	10.2%	10.0%	9.9%	9.8%	9.8%	9.8%	9.7%	—	—	・合併処理浄化槽設置済人口/行政人口×100 ・合併処理浄化槽基数/全浄化槽基数×100
		33.2%	34.3%	36.3%	37.6%	38.6%	39.5%	40.2%	41.3%	42.1%	43.6%	100%	2030	
	コミュニティプラントの整備	コミュニティプラント処理人口普及率(%)												
	・コミュニティプラントの整備及び適正な維持管理を推進する。	0.1%	0.1%	0.13%	0.13%	0.13%	0.13%	0.13%	0.13%	0.13%	0.12%	0.13%	2030	コミュニティプラント処理人口/行政人口×100
	河川等公共用水域水質監視	河川(BOD)の環境基準達成率(%)												
	・公共用水域及び地下水の水質常時監視を実施する。	100%	100%	93.3%	100%	100%	86.7%	100.0%	100%	100%	93%	100%	毎年	・河川BODは尾張地域のみの環境基準達成率 ・海域CODは伊勢湾(狭義)のみの環境基準達成率
		25%	75%	50%	25%	50%	25%	50%	25%	25%	25%	100%	毎年	
	水生生物調査	実施箇所数												
	・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。	34箇所	29箇所	38箇所	47箇所	33箇所	38箇所	—	—	28箇所	21箇所	前年増	単年	水生生物調査の実施箇所数、延べ参加人数
		2,122人	1,290人	2,122人	2,223人	1,768人	4,277人	—	—	1,016人	470人	前年増	単年	
	流域モニタリング一斉調査	実施箇所数												
	・住民と行政が連携・協働し、森から海まで流域全体を視野に入れた水環境に関するモニタリングを実施する。	54箇所	88箇所	89箇所	91箇所	95箇所	93箇所	92箇所	93箇所	84箇所	106箇所	前年増	単年	流域モニタリング一斉調査の実施箇所数、延べ参加人数
		421人	660人	592人	648人	592人	371人	289人	274人	399人	493人	前年増	単年	
	伊勢湾再生推進会議(関係機関との連携強化)	施策実施状況(件)												
	・伊勢湾とその流域の再生のための行動計画の策定と推進、各事業主体の施策の実施、河川・湖沼・海岸等での水質調査、簡易水質テスト、ごみ調査、生物調査、清掃活動の実施	215件	217件	218件	219件	219件	219件	219件	219件	221件	221件	継続実施	継続実施	各機関の施策実施状況
	河川・海岸の清掃	実施回数(回)												
	・きれいな川と海を次世代へ残すために地域住民・自治体・国が一体となって清掃活動を行う。また、河川、水路及びため池の環境を守り向上させるために、啓発活動と美化活動を行う。	842回	851回	869回	781回	590回	616回	646回	660回	661回	551回	前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数
		224箇所	196箇所	181箇所	179箇所	88箇所	80箇所	68箇所	93箇所	114箇所	129箇所	前年増	単年	
		68,852人	56,122人	52,811人	44,281人	20,757人	22,615人	8,140人	8,722人	16,278人	23,324人	前年増	単年	

めざす姿	指標とする取組	実 績										目標値	目標年度	指標の説明
	取組内容	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度			
豊かな水	森林整備の促進	間伐面積(ha)										4,000ha(県域)	-	間伐を実施した面積
	・森林が有する水源の涵養などの多面的機能を十分に発揮させるため、森林の適切な保全管理を行う。	141ha	105ha	109ha	19ha	21ha	30ha	25ha	40ha	19ha	20ha			
	雨水浸透施設等の設置(浄化槽の転用を含む)	雨水貯留施設の設置数										継続実施	単年	・構成員が施工した公共施設等における雨水貯留施設の設置数 ・地域住民が行う雨水貯留浸透施設(浄化槽転用貯留槽、雨水貯留浸透施設、雨水浸透ます、雨水浸透管・側溝、透水性舗装など)の設置に補助した件数
	・降雨時における雨水流出抑制を図ることにより河川などの洪水を軽減するとともに、公共下水道接続時に不となる浄化槽を雨水貯留施設へ転用することで、雨水の有効利用及び地下水の涵養を図る。	324箇所	214箇所	204箇所	65箇所	98箇所	94箇所	90箇所	95箇所	89箇所	92箇所			
		雨水貯留浸透施設設置補助件数										継続実施	単年	
		526件	319件	286件	149件	105件	132件	117件	121件	229件	167件			
多様な生態系	透水性舗装の推進	整備面積(m ²)										継続実施	単年	構成員が施工した透水性舗装の面積
	・雨水を地中に浸透させ、都市の水循環をより自然なものに近づけ、雨水流出抑制と地表面の温度低下によるCO2削減など環境に配慮したまちづくりを行う。	68,962m ²	70,606m ²	68,705m ²	59,342m ²	36,451m ²	28,399m ²	52,463m ²	62,013m ²	36,012m ²	30,663m ²			
	ため池の保全	整備箇所数										継続実施	単年	構成員が整備したため池の箇所数
	・近年の都市化の進展などによりため池を取り巻く環境の悪化や、ため池の減少など様々な課題に対応するため、県が策定した「愛知県ため池保全構想(H19.3)」に基づき、ため池が持つ多面的機能を維持・増進する。	45箇所(6箇所継続)	25箇所(16箇所継続)	36箇所(21箇所継続)	28箇所	26箇所	25箇所	26箇所	30箇所	37箇所	32箇所			
	多自然川づくり	整備延長(km)										継続実施	単年	県内全域での実績
	・河川全体の営みを視野に入れ地域の歴史文化との調和に配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出する。	7.6km	3.3km	1.0km	0.9km	0.9km	1.3km	2.2km	4.0km	4.0km	2.0km			
ふれあう水辺	ため池の保全(再掲「豊かな水」)	整備箇所数										継続実施	単年	構成員が整備したため池の箇所数
	・近年の都市化の進展などによりため池を取り巻く環境の悪化や、ため池の減少など様々な課題に対応するため、県が策定した「愛知県ため池保全構想(H19.3)」に基づき、ため池が持つ多面的機能を維持・増進する。	45箇所(6箇所継続)	25箇所(16箇所継続)	36箇所(21箇所継続)	28箇所	26箇所	25箇所	26箇所	30箇所	37箇所	32箇所			
	ビオトープ整備	整備箇所数										継続実施	単年	構成員が整備したビオトープの箇所数
	・動植物の多様な生息場所を確保することにより、地域環境の向上と人間と自然との共生を図る。	4箇所	5箇所	1箇所	0箇所	0箇所	0箇所	1箇所	1箇所	1箇所	0箇所			
	水生生物調査(再掲「きれいな水」)	実施箇所数										前年増	単年	水生生物調査の実施箇所数、延べ参加人数
	・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。	34箇所	29箇所	38箇所	47箇所	33箇所	38箇所	-	-	28箇所	21箇所			
		延べ参加人数(人)										前年増	単年	
		2,122人	1,290人	2,122人	2,223人	1,768人	4,277人	-	-	1,016人	470人			
	河川・海岸の清掃(再掲「きれいな水」)	実施回数(回)										前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数
	・きれいな川と海を次世代へ残すために地域住民・自治体・国が一体となって清掃活動を行う。また、河川、水路及びため池の環境を守り向上させるために、啓発活動と美化活動を行う。	842回	851回	869回	781回	590回	616回	646回	660回	661回	551回			
		実施箇所数										前年増	単年	
豊かな水		224箇所	196箇所	181箇所	179箇所	88箇所	80箇所	68箇所	93箇所	114箇所	129箇所			
		延べ参加人数(人)										前年増	単年	
		68,852人	56,122人	52,811人	44,281人	20,757人	22,615人	8,140人	8,722人	8,722人	23,324人			
	多自然川づくり(再掲「多様な生態系」)	整備延長(km)										継続実施	単年	県内全域での実績
	・河川全体の営みを視野に入れ地域の歴史文化との調和に配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出する。	7.6km	3.3km	1.0km	0.9km	0.9km	1.3km	2.2km	4.0km	4.0km	2.0km			
	河川・海岸の清掃(再掲「きれいな水」)	実施回数(回)										前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数
豊かな水		842回	851回	869回	781回	590回	616回	646回	660回	661回	551回			
		実施箇所数										前年増	単年	
		224箇所	196箇所	181箇所	179箇所	88箇所	80箇所	68箇所	93箇所	114箇所	129箇所			
		延べ参加人数(人)										前年増	単年	
		68,852人	56,122人	52,811人	44,281人	20,757人	22,615人	8,140人	8,722人	16,278人	23,324人			